

先日、愛犬の散歩中何気なく道路脇の水路に目を向けると、一枚の葉っぱがすいすいと気持ちよさそうに流れているのを見かけました。視線を先にやると、水路が二手に分かれていたので、「葉っぱが左方向へ流れたらもう少し散歩しよう、でも右方向へ流れたらそのまま家に帰ろう」と思い、葉っぱの行方を見ていました。

すると、その葉っぱは流れる方向を決めかねているかのように水路の分かれ際の箇所ですまってしまう、どちらの方向に流れるのか分からなくなってしまう。「どうしよう、どちらにも流れて行かないならもう少し散歩しようか」と思ったとき、留まっていた葉っぱが後から流れてきた小枝に後押しされるように右方向へ流れて行きました。

さて、今回の一連の状況を人間関係にあてはめてみました。将来に不安を感じてこの先どうしようか、どの道に進もうかと悩むことは誰にでもあることと思います。

そんな時、仲間や周囲の人たちが気軽に相談に乗ってくれたり、

「より良い社会へ」

より良い方向に進めるよう助言してくれたりすることで、次の一歩をふみ出せることもあります。その一歩のおかげで、その人だけでなく周りの人たちにも良い影響を与えることもあるのではと思います。

困っている人がいれば、協力し、支えてくれる人が周りにいる。そのような環境であれば、人間同士温かなつながりが生まれ、より良い社会になっていくのではないのでしょうか。



*このシリーズはあなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願ひ、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ

人権啓発広報委員会
☎ 880・6569